

トピックス

環境関連受賞

第21回環境コミュニケーション大賞受賞 ～環境配慮促進法特定事業者賞～

本学は、環境コミュニケーション大賞[環境報告書部門]において「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞しました。今回で5年連続9回目の受賞となりました。

第3回サステナブルキャンパス賞 建築・設備部門受賞

本学は、平成29年11月17日に愛媛大学にて開催された、サステナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)2017年次大会において、スマートキャンパスの取り組みが評価され、「第3回 サステナブルキャンパス賞 建築・設備部門」を受賞しました。

サステナブルキャンパス賞とは、サステナブルキャンパス

環境ISO学生委員会が地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)受賞

三重大学環境ISO学生委員会の多年にわたる活動が認められ、平成29年度地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)を受賞しました。環境省では、環境保全、地域環境保全および地域環

受賞のあゆみ

環境関連 受賞歴



環境報告書 受賞歴



環境ISO学生委員会と関係者 (H30.02.21)

環境ISO学生委員会による優れたサステナブルキャンパス構築に係る取組事例を表彰制度によって顕彰し、会員の意識を高めると共に、協議会の活動を推進し加速させ、持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献することを目的に平成27年度から始めた表彰制度です。

境美化に関して顕著な功績があった者または団体に対し、毎年、環境大臣による表彰を行っています。



〈環境報告書2018の目次〉 ◆概要版掲載記事

学長メッセージ 環境の文化が根付く三重大学の目指すもの **E** 1

三重大学環境方針 **E G** 2

Mie University Environmental Strategy **E G** 3

三重大学が目指す環境 **E G** 4

1 三重大学の概要 **E** 4

- 基本理念
- 三重大学を創る6つのビジョン

2 トピックス **E S** 6

- 環境関連受賞
- 医学部附属病院が新しくなりました ◆

3 特集 **E S G** 11

- SciLets ◆
- 環境座談会

4 環境ISO学生委員会の活動 **E S** 17

- 環境ISO学生委員会の平成29年度活動カレンダー ◆
- 3R活動 ■緑化活動 ■広報活動 ■地域連携活動

5 サステナブル・スマートキャンパス **E** 23

- 省エネ積立金制度 ◆
- 学生・教職員の環境活動の見える化[MIEUポイント]
- 環境活動を1日にした場合のMIEUポイントの獲得の例
- MIEUポイント拡大に向けた新たな取り組み

6 環境教育 **E** 26

- 現代社会理解特殊講義(テーマ:MIEUポイント) ◆
- 環境学A(テーマ:環境内部監査員養成)
- 環境学F(テーマ:水質・大気環境化学)
- 現代社会理解実践(テーマ:環境インターンシップ) ◆

7 環境研究 **E** 30

- 野生動物による農作物被害をドローンで防ぐ
- 忍者と環境 ■化石から探る進化と古環境
- 銀および銅イオンによる抗菌効果の検証
- 医療用脊椎固定器具の開発環境を支える医工連携共同研究
- 木材の環境配慮性、地域貢献度を定量化して利用促進につなげる研究
- 深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト ◆

8 環境コミュニケーション **E S** 37

- 教職員の社会貢献活動
- 学生を取り巻く地域の交通安全環境改善
- 第24回 Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム2017
- 四日市公害の教訓とアジアの国際環境協力
- 地域と連携した小水力発電の復活
- 自然環境リテラシー学 ■学生委員会紹介
- 部・サークルの環境活動 ■附属学校の取り組み

9 環境関連の取り組み **E** 45

- 地球温暖化防止活動 ■省エネルギー体制
- 省エネルギー対策 ■自然エネルギーの利用
- 環境会計 ■キャンパスグリーン作戦
- 大学の省エネルギー・スマート化に関する中国との交流会
- マテリアルバランス ◆ 環境負荷
- グリーン購入・調達状況

ESG★の該当記事には以下のアイコンを目次に付けました

E 環境 (Environment) **S** 社会 (Social) **G** ガバナンス (Governance)

SDGs 17目標 169ターゲットに該当する記事には17目標の個別マークを記事見出しにつけました。(SDGsの解説は 環境報告書2018 P70)

環境報告書2018は、三重大学ホームページ (<http://www.mie-u.ac.jp/profile/environment/environment.html>) でも公表しています。

発行 平成30(2018)年9月 国立大学法人 三重大学

問い合わせ先 環境教育研究センター/施設部施設環境チーム 〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL 059-231-9223・9823 FAX 059-231-9859 E-mail contact@gecer.mie-u.ac.jp ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>

概要版



環境報告書 Environmental Management Report 2018

2018



世界に誇れる「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために



■表紙について 世界に誇れる「環境先進大学」を目指して三重大学が取り組んでいる環境活動・プロジェクトのイラストやロゴを配置しています。

- 三重大学のシンボル/三翠ホール・モニュメント
- これまでに三重大学が取り組んできた環境活動/3R活動の取り組み、自然エネルギーを利用した発電設備
- 環境報告書2018の記事にて紹介された環境活動やプロジェクト

学長メッセージ

環境の文化が根付く三重大学の目指すもの

三重大学は、「世界に誇れる環境先進大学・環境の文化が根付く大学」を目指して、学生と教職員が連携協力をし、さまざまな事業・活動が実施されてきています。企業体としての三重大学は、第3期中期目標中期計画の6年間において、エネルギー使用量を2015年度比で6%削減するという意欲的な達成目標を設定しました。そして、エネルギー総合管理システムの導入、再生可能エネルギー(風力と太陽光)とガスコージェネレーションによる発電、省エネ重点施設(デシカント空調・低損失LED照明)の整備等のハード面での省エネ対策を実施してきています。さらに、学生、教職員が協力し、環境ISO学生委員会を中心に、大学キャンパス内における省エネ・節電行動に留まらず、地域・社会への環境マインドの水平展開にも取り組んでいます。また、高等教育機関である三重大学としては、環境マインドを持った逞しい人材の育成、地球環境の保全・改善に資する先端研究の実施等、環境分野の教育・研究においても大切な役割を担っていると認識しています。

環境文化の熟成

三重大学は、企業体としての省エネ活動を着実に実施していくと共に、平成27年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている17のSDGs(持続可能な開発目標)を達成するための行動へと、その活動範囲を拡大しています。そして、永続的な社会・地球環境を構築するための地域拠点となるため、学内・地域における環境の文化の熟成を図っています。三重大学での学びを通して、未来を担う若者の心に、環境マインドが根付くことを期待していますし、さらには、環境マインドを身につけた学生には、社会においても三重大学の環境文化をそれぞれの立場で広く発信し、SDGs達成のリーダーとして活躍して頂くことを願っています。

未来のグリーンキャンパスづくり

三重大学は、自然豊かなキャンパスづくりを進めていく基本となる「キャンパスマスタープラン2016」を作成し公表を致しました。このプランは、既存のキャンパス資産を最大限活かしつつ、それを現実的・持続的・創造的に拡大再生産する「創造的再生」の戦略を用いています。三重大学キャンパスでは、木々の緑に囲まれ、伊勢湾の波の音や小鳥のさえずりが聞こえ、澄み渡った青空を仰ぎ見る環境が維持・整備され、この素晴らしい環境の中で、独創的で高度な教育・研究活動が活発に展開されることを目指しています。三重大学では、環境に優しい行動が日常的に行われ、キャンパス内に足を一歩踏み入れた瞬間から、環境の文化の匂いを感じて頂けるようなキャンパスづくりを進めていきたいと思います。



平成30年9月 三重大学長 最高環境責任者 駒田美弘

トピックス

医学部附属病院が新しくなりました

■ 新しい三重大学病院

三重大学病院は、一般病院では実施することが難しい手術や先進的な高度医療を行うことができる特定機能病院として、安心・安全で高度な医療を提供するため、診療機能の充実と効率化を推進しました。がん医療、救急医療などをさらに強化すると共に、災害時に役立つ病院としての機能も強化されています。



再開後／平成30(2018)年



新三重大学病院(H30.03.07) ドクターヘリ(H29.11.15)



■ 環境への配慮

「環境先進大学の附属病院」として、建物環境面では、太陽の位置や照明により自動で日射を制限するブラインドを設置、西日の熱負荷を一つことで省エネを図っています。そのほかには、LED照明、室用途に応じた種類の空調機、断熱材、ペアガラスによる熱負荷低減などを採用することにより建物の省エネルギーを推進しています。



写真左壁面が電動ブラインド(H26.12.02) ハイブリッド(風車+太陽光パネル)LED照明(H30.03.06)

環境報告書2018 P9~10

サステナブル・スマートキャンパス

省エネ積立金制度

本学は地球温暖化防止活動として平成28年度からの6年間において平成27年度比でエネルギー使用量を原単位ベースで6%削減することを第3期中期計画にしています。

省エネ活動や設備の運用改善などのソフト面だけでなく、ハード面からも省エネ改修を進めていく仕組みとして「三重大学省エネ積立金制度」を平成29年度から導入しました。

この制度によるエネルギー削減率は原単位ベースで6.8%、CO₂削減量は1,652t/年と予測しており中期計画の目標値を達成できます。

省エネ積立金制度は文部科学省から「運用改善だけでは目標達成が困難なため、老朽設備を計画的に省エネ改修する仕組みづくりを構築した」「予算確保の工夫!!」と高く評価されました。環境報告書2018 P23



環境教育

現代社会理解特殊講義(テーマ:MIEUポイント)

現代社会理解特殊講義では学生の環境マインドの育成を目的として、持続発展教育(ESD)の基礎となる自然環境・地域経済・環境への取り組みの事例などを学びます。また、本学のESD実践方法の一つとして、本学独自の環境活動に対するポイント付システムであるMIEUポイントシステムについての理解を深めます。さらにMIEUポイント活動の実践を通してシステムの改善や拡張についての検討・考察を行います。

本講義内では学生が自ら環境に関するテーマを設定し、数名ずつのグループに分かれ、数週間にわたって活動を行います。そして中間および最終週にはプレゼンテーションを行い、自分たちの活動をほかのグループに紹介し、情報を共有し合うことで、自分たちの身の回りの環境に関心を持ち、それをよりよいものにしていこうという環境マインドの育成を行っています。



啓発用POP(H30.08.01)

現代社会理解実践(テーマ:環境インターンシップ)

現代社会理解実践(環境インターンシップ)は、企業・市役所などにおける環境実務への参加を通して、企業や自治体の行っている環境活動についての理解を深めると共に、実務に必要なスキルや態度を習得することを目的として開講しています。例年、インターンシップ受け入れ先として、東芝メモリ株式会社、ミキモト真珠島真珠博物館、亀山市役所、三重県地球温暖化防止活動推進センター、伊勢商工会議所などの機関からご協力を頂いています。毎回、学生たちの発表から感じられることは、このインターン

インターンシップを受けた学生
西島 旬哉(生物資源学部2年生)



環境報告書2018 P26、P29

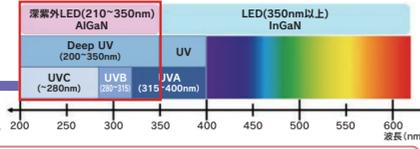
環境研究

深紫外LEDで創生される産業連鎖プロジェクト

(地域イノベーション学研究所) 三宅 秀人(教授)

文部科学省の5カ年補助事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に本学が採択されました。

深紫外LEDは、農水・医療などの広い応用分野を持つため、青色LEDの次を担う有望な素子で、量産化すべき重要技術



当プロジェクト コア技術の概要については、環境報告書2018をご覧ください。環境報告書2018 P36

特集

科学的地域環境人材(SciLets) 育成事業について

■ 概要

本学では平成28年度から、文部科学省の国立大学法人運営費交付金機能強化経費による科学的地域環境人材(SciLets) 育成事業を行っています。この事業は、地域に多く賦存する環境価値を利用して地域の環境を保全し、また地域の活性化を図ることを主な目的とする、社会人および学生を対象とする人材育成システムです。パリ協定が発効し、国や自治体の環境対策が今後

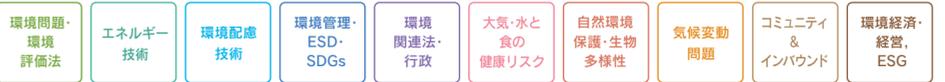
ますます高度化するに伴い、この分野の専門的知識を有する人材が一層必要となります。科学的地域環境人材を英語で表記すると、Scientific Local and Environmental 'Talented Staff' となりますので、略して「SciLets」とし、このコンセプトを国内外に広げようとしています。

SciLets

■ 仕組みについて

受講の仕方は、忙しい社会人が学習時間を自由に取れるように、インターネット上のビデオ講義とし、e-ラーニングシステムにより受講して理解度確認試験を実施し、その結果を記録します。そのために、サイレッツ用広報ページのほかに専用のe-ラーニングシステムを構築しました。

さらに三重大学のサーバー上にサイレッツビデオ講義用システムを設定し、登録者がこれらのホームページや教材に学外・学内を問わず、自由にアクセスできるようにしました。

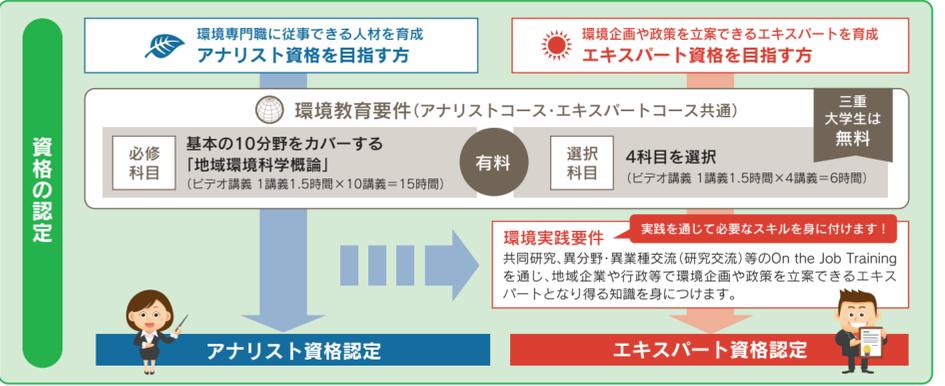


■ 最近の活動

準備期間を経て平成29年度当初から受講者の募集が開始され、平成29年6月6日には三重県知事陣席のもと「科学的地域環境人材」育成事業フォーラムを開催し、内外に事業の本格的な開始を宣言しました。最近では、北勢や東紀州地域における環境問題セミナーを開催し、事業紹介を行いつつ受講者の受け入れを

進めています。平成30年3月末の時点で、社会人の受講登録者は75名となり、企業や自治体が組織として受講者を支援できる仕組み、「連携パートナー」は110組織となり、現在ますます多くのサイレッツを育成しようとの努力が続けられています。

環境報告書2018 P11~12



環境ISO学生委員会の活動

環境ISO学生委員会の平成29年度活動カレンダー

写真は○印のイベントの様子です 環境報告書2018 P17

環境関連の取り組み

マテリアルバランス

環境負荷の削減活動を進めるために、上浜キャンパスの事業活動(教育・研究・診療・社会貢献)に使用する資源・エネルギー量を測定し、発生する環境負荷の種類・量など各種データの集

計・分析を行っています。データを正しく把握することで、省エネ・省資源に努めています。環境報告書2018 P47



マテリアルバランス(平成29年度実績)

